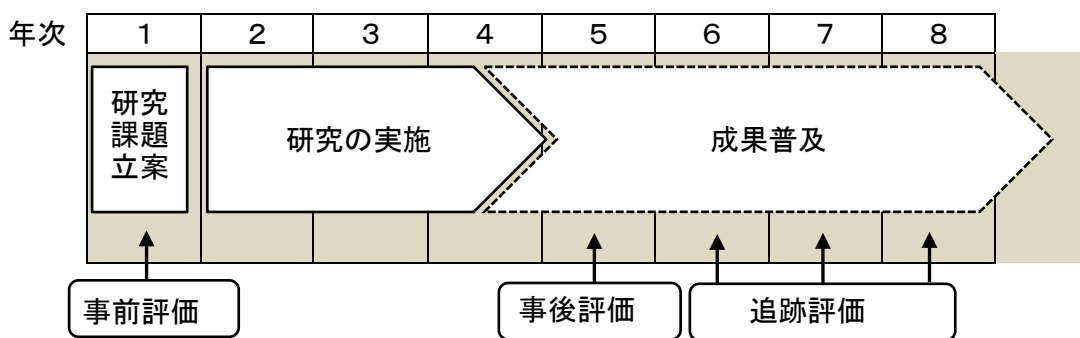


平成26年度追跡評価結果

研究開発を行った場合、その成果が社会・経済などにどのような影響を与えたかが最も重要になってきます。

総合技術研究所では、研究終了後1年を経過した時点で、研究成果の活用状況や波及効果等について追跡評価を行っています。また、今後大きな移転成果が見込める可能性がある研究課題については更なる追跡評価を実施します。これにより県民への説明責任を果たすとともに、研究開発の企画・立案機能の強化や成果移転などの効果的な推進に活用しています。

平成26年度に追跡評価した研究課題は、経済的価値の創出及び県民の安全・安心に寄与しています。



【評価結果概要】

平成26年度は、平成24年度に終了した（研究終了後1年を経過した）8課題、平成23年度に終了した（研究終了後2年を経過した）4課題、平成22年度に終了した（研究終了後3年を経過した）10課題の計22課題について実施しました。結果は次のとおりです。

評価区分	内容	課題数
S	研究成果が十分に活用され、効果は当初見込みを上回っていると認められる。	2
A	研究成果が活用され、効果は当初見込みをやや上回っていると認められる。	2
B	研究成果が活用され、効果は当初見込みどおりであると認められる。	7
C	研究成果の活用が不十分で、効果は当初見込みをやや下回っていると認められる。	6
D	研究成果の活用が不十分で、効果は当初見込みを下回ると認められる。	5
合計		22

また、総合評価において、研究成果が活用され、効果が当初見込みどおり若しくは上回っていると認められた研究成果の活用状況は、次の11課題です。

総合評価結果	センター	課題名 【研究期間（年度）】	成果の活用状況
S	食品	酵素による分子改変を利用した動物性素材の食感・食味創造技術の開発【H21-23】（凍結含浸技術）	○特許許諾企業数は延べ51社になりました。 ○製品化企業数は延べ14社、製品数合計は100品を超えました。（平成26年3月時点）
S	水産	むき身かきの鮮度保持技術の開発～広島かきのシェア回復・拡大に向けて～【H22-24】	○県内大手流通加工業者3社へ技術移転しました。 ○このうち企業2社により商品化されました。
A	西部	車載モジュール用プラットフォームの開発【H21-23】	○県内の7企業・研究会等に技術が移転されました。 ○このうち、2件で製品化・実用化されました。
A	農業	温州ミカン「石地」の早期多収を目指す主幹形栽培技術の確立【H18-22】	○5haの果樹園に技術が導入されました ○改植後5年目までの累積販売額は、従来の樹形による改植方法と比べ5haで7,000万円のアップが見込まれます。
B	西部	ものづくり基盤技術高度化プロジェクト【H22-24】	○5社に技術移転（開発ソフトを利用）しました。 ○県内企業が工具モニタリング装置を試作開発中です。
B	農業	ハウレンソウの難防除害虫ハウレンソウケナガコナダニ総合防除法の開発【H20-22】	○県内6か所の主要産地に技術移転しました。 ○これらの産地のコナダニ被害はほぼゼロになりました。
B	畜産	クローン検定の効率化を目的とした遺伝情報付加胚再生技術の開発【H20-22】	○種雄牛「紅白勝」を日本で初めてクローン検定で選抜しました。 ○年1頭のペースでクローン検定による種雄牛造成を実施しています。
B	畜産	濃厚飼料価格高騰に対する自給粗飼料多収・多給技術の開発【H21-24】	○県内の219ha（H25年度）の転作田で飼料イネが栽培され、このうち210haが「たちすずか」となりました。 ○農林水産局と共同で栽培給与マニュアルを刊行しました。
B	水産	地付魚（メバル・オニオコゼなど）の蓄養技術の高度化と効率的な活魚輸送技術の開発【H21-23】	○県内合同会社及び漁業協同組合の2者に技術移転しました。 ○このうち合同会社は特許技術を活用して10店舗に魚を出荷しました。
B	林業	「低コスト林業団地」における効率的な路網計画策定技術の開発【H20-22】	○県内コンサルティング会社1社に技術移転中です。
B	林業	木材の不燃化等高機能化技術の開発【H22-24】	○県内企業5社に技術移転しました。 ○うち1社が準不燃材の大臣認定取得を目指しています。

[平成26年度受賞実績]

研究所の特許技術をはじめ、多数の業績で受賞

平成 26 年度地方衛生研究所全国協議会中国・四国支部長表彰

受賞テーマ | 保健衛生に関する調査研究

受賞者 | 新井 清

表彰団体 | 地衛研全国協議会中国・四国支部

- ◆ 食中毒原因化学物質や指定薬物等の検査法開発及び地下水水質解析などに貢献したことが評価されました。



平成 26 年度全国環境研協議会中国・四国支部長表彰

受賞テーマ | 環境及び公害に関する調査研究

受賞者 | 渡部 緑

表彰団体 | 全国環境研協議会中国・四国支部

- ◆ 廃棄物最終処分場の廃棄物から溶出する塩類や金属等が安定化する年数の推定、及び廃棄物焼却炉から発生する溶融飛灰の資源化のためのコスト検討が評価されました。



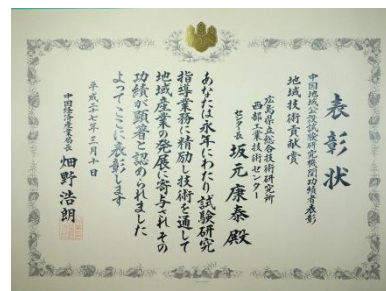
平成 26 年度中国地域公設試験研究機関功績者表彰

受賞テーマ | ものづくりデジタル化への地域貢献

受賞者 | 坂元 康泰

表彰団体 | 公益社団法人ちゅうごく産業創造センター

- ◆ 永年にわたり試験研究及び指導業務に携わり、技術を通じて地域産業の発展に貢献したことが評価されました。



平成 26 年度試験研究功労賞

受賞テーマ | 化学反応に基づく高分子・複合材料の性能向上技術の研究とその活用による企業の技術力高度化, 事業化・製品化支援

受賞者 | 大橋 俊彦

表彰団体 | 公益社団法人ちゅうごく産業創造センター

- ◆ 永年にわたり試験研究業務及び技術指導業務等に携わり、顕著な業績を挙げたことが評価されました。



平成 26 年度日下賞

受賞テーマ | 「溶湯熱利用による鋳鋼の表面改質に関する研究・開発」

受賞者 | 花房 龍男

表彰団体 | 公益社団法人日本鑄造工学会

- ◆ 溶湯熱を利用し、省エネルギーな鋳物の表面改質技術を開発しました。

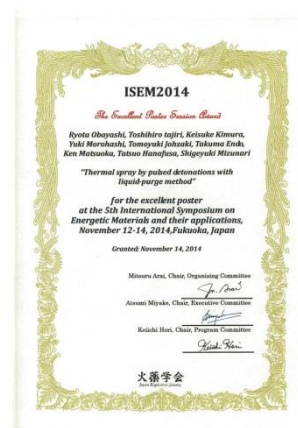


The Excellent Poster Session Award

受賞テーマ | 「Thermal spray by pulsed detonations with liquid-purge method」

受賞者 | 尾林 良太, 田尻 敏浩, 木村 圭祐, 諸橋 祐紀,
城崎 知至, 花房 龍男, 水成 重順
遠藤 琢磨 (広島大学),
松岡 健 (名古屋大学)

- ◆ 開発した超高周波数パルスデトネーション溶射装置を用いて、溶射形態の検討を行いました。
- ◆ 高融点なため難溶射材料である酸化ジルコニウム皮膜形成を試みました。



平成 26 年度優秀地域貢献賞

受賞テーマ | 広島県特産であるワケギ球根の移植方法の開発と普及

受賞者 | 川口 岳芳

表彰団体 | 日本農作業学会

- ◆ 広島県の特産のワケギ球根の調整作業を効率化する調整機を開発したことが評価されました。

公益財団法人日本植物調節剤研究協会創立 50 周年記念植物調節剤功労者表彰

受賞テーマ | 新規開発植物調節剤の実用化への貢献

受賞者 | 梶原 真二

表彰団体 | 公益財団法人日本植物調節剤研究協会

- ◆ 新たに開発された植物調節剤について、実用化のための試験研究に貢献したことが評価されました。

平成 25 年度畜産研究功労者表彰

受賞テーマ | 国内の飼料自給率向上への寄与

受賞者 | 新出 昭吾

表彰団体 | 全国畜産研究場所長会

- ◆ 飼料イネの栽培から乳牛への給与に至る一連の技術を開発し、耕畜連携の推進に寄与したことが評価されました。
- ◆ 飼料イネ「たちすずか」の有用性解明や混合飼料（TMR）利用技術の普及に係る支援が評価されました。

品質工学会賞 発表賞 銀賞

受賞テーマ | 「MTシステムによる赤潮発生判別の試み」

受賞者 | 水野 健一郎

表彰団体 | 2014年度公益財団法人精密測定技術振興財団

- ◆ 既存データを用いたMTシステムでの解析によって、高い精度でカレニア赤潮の発生判別が可能となった取組が評価されました。



品質工学会会長賞

受賞テーマ | 「合成樹脂材を用いた養殖かき採苗法の検討」

受賞者 | 高辻 英之, 水野 健一郎

表彰団体 | 2014年度公益財団法人精密測定技術振興財団

- ◆ ホタテ貝殻に代わる合成樹脂製の採苗器の最適化の取り組みが評価されました。



第27回研究功績賞

受賞テーマ | スギ等地域材を用いた構造用新材料の開発と評価

受賞者 | 藤田 和彦

表彰団体 | 全国林業試験研究機関協議会

- ◆ 地域材を用いた構造用集成材の開発と、構造用材料としての性能を評価し、新JAS 基準づくりに貢献したことが評価されました。



第8回日本木材学会論文賞 《木材学会誌》論文賞

受賞テーマ | 非正規確率楕円による木材強度データの2次元表現（第1報）分位等価な変換による非正規確率楕円

受賞者 | 園田 里見（富山県農林水産総合技術センター木材研究所）

藤田 和彦

飯島 泰男（秋田県立大学木材高度加工研究所）

表彰団体 | 一般社団法人日本木材学会

- ◆ 木材強度に関する2つの観測データの関係を、確率という物差しで2次元的に表現することで、汎用的に扱えるようにしたことが評価されました。

平成26年度 森林利用学会賞

受賞テーマ | 低コスト作業システムと基盤整備技術に関する研究と普及

受賞者 | 與儀 兼三

表彰団体 | 森林利用学会

- ◆ 木材の高生産性を発揮させるため、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト作業システムの開発が評価されました。



広島県有知的財産権一覧

総合技術研究所の職員が発明あるいは開発し、広島県が出願して権利を取得した知的財産は、次の75件です。平成26年度は新たに16件の特許権を取得し、3件の商標を登録しました。

これらは、一定の実施料(使用料)をお支払いいただくことにより使用していただけます(ただし、共同出願となっているものは、共同出願者の許諾も必要になります)。

(平成27年3月時点)

センター	財産区分	内 容	登 録 年月日	登録 番号	共同 出願
保環C	特許権	貧酸素化水質環境の改善処理方法及び改善処理装置	H23. 9. 9	4817311	—
	特許権	被処理排水中のリン除去回収方法	H24. 12. 28	5164101	—
	特許権	ノロウイルスの簡易高感度検出法	H25. 8. 2	5328010	—
	特許権	石膏ボード中のアスベスト分析方法及び分析試料作製方法	H25. 8. 23	5344425	—
	特許権	空気浄化装置(空気浄化装置、空気浄化方法、ウイルスの不活化方法及び脱臭方法)	H25. 12. 6	5424167	○
	特許権	シアン濃度簡易測定装置及びシアン濃度測定方法	H26. 6. 27	5565853	—
	特許権	ウイルス不活化装置及びウイルス不活化方法	H27. 2. 27	5700859	○
食品C	特許権	調味料の製造方法	H15. 9. 26	3475328	—
	特許権	植物組織への酵素急速導入法	H17. 6. 17	3686912	—
	特許権	食品素材の殺菌方法	H20. 5. 23	4128063	○
	特許権	マンノシルエリスリトールリピッドの製造方法	H21. 4. 3	4286558	—
	特許権	軟質植物質食品の製造方法	H21. 11. 13	4403210	○
	特許権	血小板凝集抑制剤及びヒスタミン遊離抑制剤	H23. 2. 4	4675033	○
	特許権	糖脂質及びその製造方法	H23. 4. 15	4722386	—
	特許権	機能性食品の製造方法及び機能性食品	H23. 6. 3	4753206	—
	特許権	芽胞の発芽方法およびこれを用いた芽胞菌の殺菌方法	H23. 12. 2	4872048	○
	特許権	調理食品の製造方法	H24. 3. 16	4947630	—
	特許権	加工食品, その製造方法, 及びエキス	H24. 5. 11	4986188	—
	特許権	被膜, 被膜の製造方法及び食品包装材	H24. 6. 22	5019415	—
	特許権	熟成食品の製造方法	H24. 9. 28	5093658	—
	特許権	α-グルコシダーゼ阻害剤及びその製造方法	H25. 8. 2	5327732	○
	特許権	食品およびその製造方法 (咀嚼・嚥下困難者用食品及び食品の加工方法) (咀嚼・嚥下困難者用食品及び咀嚼・嚥下困難者用食品の製造方法)	H25. 12. 6	5424181	—
	特許権	介護食調理用補助剤, これを用いた介護食, 及び介護食調理用器具	H25. 12. 20	5435384	○
	特許権	医療用検査食およびその製造方法	H26. 6. 6	5552681	—

表のつづき

センター	財産区分	内 容	登 録 年月日	登録 番号	共同 出願
食品C	特許権	熟成食品の製造方法 (EPC 7カ国) (Method of Producing Matured Food)	H26. 12. 31	2196100	—
	特許権	硬質容器入り食品およびその製造方法	H27. 1. 9	5674178	○
	商標	広島もみじ酵母 (図形)	H26. 7. 18	5687630	—
	商標	広島もみじ酵母 (標準文字)	H26. 8. 15	5694178	—
西部C	特許権	無機化合物ガスクッション型粉体離型潤滑剤	H16. 1. 6	3504559	○
	特許権	熱フィラメントCVD法	H18. 10. 6	3861178	—
	特許権	超音波画像診断による生体組織評価システム	H23. 8. 12	4797194	○
	特許権	鋏型手動利器及びそのグリップアタッチメント	H24. 3. 9	4941910	○
	特許権	構造物の非破壊診断方法	H24. 5. 25	4997636	—
	特許権	方向制御性を伴ったガイド波パルス圧縮深傷法および探傷装置	H24. 10. 19	5110417	○
	特許権	加工誤差予測のためのコンピュータプログラム、加工誤差予測装置およびその予測結果に基づいて工具経路を修正する装置	H25. 7. 12	5309288	○
	特許権	電子透過膜およびその製造方法	H25. 8. 16	5339584	○
	特許権	マンノシルエリスリトールリピッドの製造方法	H25. 9. 13	5361037	○
	特許権	鉄筋を含む被切削物を切削する際の鉄筋感知方法及び鉄筋感知装置並びに切削装置	H25. 11. 22	5414113	○
	特許権	樹脂成形体	H26. 9. 12	5610265	○
	特許権	樹脂粘度測定方法及び樹脂粘度測定装置	H27. 1. 16	5678432	—
	特許権	繊維強化熱可塑性樹脂プリプレグの積層方法	H26. 12. 12	5660563	○
特許権	繊維強化熱可塑性樹脂プリプレグの積層方法(韓国)	H26. 8. 28	1437559	○	
東部C	特許権	コルヌ螺旋歯形歯車	H21. 9. 18	4376938	○
	特許権	ウォータージェットによる溝加工方法、熱交換器部材および熱交換器	H23. 12. 16	4885751	○
	特許権	鋏型手動利器、グリップアタッチメント及びグリップ被覆構造	H27. 1. 16	5679259	○
	特許権	パルスデトネーション溶射装置及び溶射方法	H26. 12. 12	5659343	○
農技C	特許権	イチゴの株据置栽培方法	H18. 6. 2	3809475	—
	特許権	植物の光酸化障害を回避させる方法及び装置	H22. 11. 12	4621874	○
	特許権	アスパラガスの若茎の誘引方法およびそれに用いる誘引具	H24. 3. 9	4941930	—
	特許権	イネシンガレセンチュウの防除法及び共生菌	H24. 3. 23	4951731	○
	特許権	防虫効果を備えた植物の照明栽培方法および植物栽培用照明装置	H24. 9. 7	5077889	○
	特許権	防虫効果を備えた植物栽培用照明装置および植物の照明栽培方法	H24. 12. 21	5158660	○

表のつづき

センター	財産区分	内 容	登 録 年月日	登録 番号	共同 出願
農技C	特許権	植付け方法および装置	H25. 3. 8	5212831	○
	特許権	果樹における水ストレスの判別方法	H25. 9. 20	5366115	—
	育成者権	稲（広島21号）	H13. 10. 12	9301	—
	育成者権	稲（千本錦）	H14. 9. 30	10616	—
	育成者権	かんきつ（広島果研11号）	H17. 10. 24	13422	—
	育成者権	かんきつ（安芸の輝き）	H21. 3. 6	17733	—
	育成者権	ヒロシマナ（晩抽広島3号）	H21. 9. 10	18371	—
	育成者権	かんきつ（安芸まりん）	H22. 3. 11	19246	—
	育成者権	ヒロシマナ（CR広島2号）	H22. 3. 17	19373	—
	育成者権	レモン（イエローベル）	H24. 3. 23	21709	—
	育成者権	かんきつ（黄宝）	H25. 2. 26	22295	—
	特許権	防虫効果を備えた植物の照明栽培方法および植物栽培用照明装置（中国）	H26. 6. 4		○
	特許権	防虫効果を備えた植物の照明栽培方法および植物栽培用照明装置（マレーシア）	H26. 8. 15	MY-1520 32-A	○
	特許権	植物土壌病害を軽減する微生物及びその微生物を活用した機能性コンポスト	H27. 3. 6	5704832	○
特許権	植物の照明栽培方法，防虫用照明装置，および防虫用照明システム（中国）	H26. 11. 5	1513987	○	
畜技C	特許権	畜産飼料用ドリル式コアサンプラー	H22. 2. 5	4448984	—
	特許権	家畜の血中ビタミンA及びベータカロテン濃度測定方法並びに家畜の血中ビタミンA及びベータカロテン濃度測定装置	H25. 9. 13	5360476	○
	特許権	反芻動物管理装置	H27. 2. 6	5688597	—
水技C	特許権	超音波処理による養殖魚の病気を予防し，感染を防止する方法	H24. 1. 27	4910188	○
	特許権	生分解性アマモ苗床シートおよびアマモ場の修復・造成・保全方法	H24. 3. 16	4948945	○
	商標	フォアグラハギ（標準文字）	H26. 7. 18	5686654	—
林技C	特許権	木材圧密処理方法	H21. 3. 6	4269004	—
	特許権	木造軸組工法建造物における接合部補強構造ならびに開口部補強構造	H25. 7. 12	5311533	—

※上記発明を実施するときには，関係する知的財産権の確認が必要となります。

※共同出願となっているものは，共同出願者の許諾も必要です。

【広島県立総合技術研究所各施設の連絡先】

○ 御相談や御要望、各種お問い合わせはお気軽に。皆様の御利用をお待ちしております。

保健環境センター

〒734-0007 広島市南区皆実町一丁目6-29
電話：082-255-7131 FAX：082-252-8642
URL：<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/25/1205888567480.html>

食品工業技術センター

〒732-0816 広島市南区比治山本町12-70
電話：082-251-7433 FAX：082-251-6087
URL：<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/26/>

西部工業技術センター

〒737-0004 呉市阿賀南二丁目10-1
電話：0823-74-1151 FAX：0823-74-1131
URL：<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/27/>
(生産技術アカデミー)
〒739-0046 東広島市鏡山三丁目13-26 広島テクノプラザ1階
電話：082-420-0537 FAX：082-420-0539
URL：<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/28/>

東部工業技術センター

〒721-0974 福山市東深津町三丁目2-39
電話：084-931-2402 FAX：084-931-0409
URL：<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/29/>

農業技術センター

〒739-0151 東広島市八本松町原6869
電話：082-429-0522 FAX：082-429-0551
URL：<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/30/>
(果樹研究部)
〒729-2402 東広島市安芸津町三津2835
電話：0846-45-5471 FAX：0846-45-1227

畜産技術センター

〒727-0023 庄原市七塚町584
電話：0824-74-0332 FAX：0824-74-1586
URL：<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/31/>

水産海洋技術センター

〒737-1207 呉市音戸町波多見六丁目21-1
電話：0823-51-2173 FAX：0823-52-2683
URL：<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/32/suigi-top.html>

林業技術センター

〒728-0013 三次市十日市東四丁目6-1 広島県三次庁舎 1号館5階
電話：0824-63-0897 FAX：0824-63-7103
URL：<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/33/>

企画部

〒730-8511 広島市中区基町10-52 (広島県庁内)
電話：082-223-1200 FAX：082-223-1421
URL：<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/24/>

【県・市工業系技術センターの連携による支援窓口等】

広島ものづくり技術相談窓口 (西部工業技術センター内)
電話：0823-74-0053 FAX：0823-74-1131
電子メールアドレス：h-gijutusoudan@pref.hiroshima.jp

共通ポータルサイト「広島県・広島市工業系技術センター 機器・技術総合案内」

URL：<http://www.itc.city.hiroshima.jp/renkei/>